

株式会社 道の駅庄和

認定テーマ名：庄和黒豆のブランド化推進事業

1. 認定事業の現況

本事業では、株式会社道の駅庄和が有する「国道4号線に接し集客能力のある販売店舗」や「各種農産物生産者とのネットワーク」、「各種食品加工業者とのネットワーク」といった経営資源を活用し、農業者中村清が有する経営資源「黒豆の栽培ノウハウ」や「黒豆新規生産希望者への育成及び栽培管理ノウハウの提供」を有機的に連携させることによって、道の駅庄和を訪れる農産物直売の利用頻度が高く、食や健康に関心が高い一般客に対し、「庄和黒豆の販売」「庄和黒豆を原料とした加工商品の開発・販売」「黒豆オーナーシップ制度の実施」により庄和黒豆のブランド化を実現するとともに地域振興を目指すことを目的として

- ① 和黒豆（庄和黒豆）の栽培拡大
- ② 黒豆加工食品の開発・製造・販売
- ③ 黒豆オーナーシップ制度の実施・定着化

を3年間の事業計画で推進してきた。各事業の現況は次のとおりである。

(1) 庄和黒豆の栽培拡大

1年目には2町歩であった耕作地が、3年目には6町歩まで拡大し、耕作人も5名まで増えている。2年目・3年目は天候等の影響により収穫量が思うように伸びず苦労もあったが、休耕田を活用し、まだ関東では栽培実績が少ない黒豆を試行錯誤しながら、栽培ノウハウを積み重ね、庄和黒豆の栽培拡大が行われている。



黒豆農園 枝豆の状態、黒豆の状態で収穫する

(2) 黒豆加工食品の開発・製造・販売

地域活性化を目指し地元の製造業者に製造委託を行い様々な種類の加工品を試作開発し、これまでに20種以上の商品化を行った。実際に「道の駅」で販売を行う中で、この「道の駅庄和」の顧客層に喜ばれ、定着する黒豆商品は何かの模索を行った。開発商品の中から定番商品は、『黒豆饅頭』『黒豆茶』など多数生まれた。商品化→販売を地道に積み上げ、実践的なマーケテ

イング活動を行った3年間は、庄和黒豆のブランド化を実現するオリジナル商品を開発する実践的なノウハウを身につけられた事業期間であった。また、開発商品には、「春日 庄黒郎」ブランドでシールを貼って統一し、ブランドの定着を図った。



店の中央に黒豆コーナーが置かれている

(3) 黒豆オーナーシップ制度

黒豆畑の1.2m×18mを一区画とし、1年契約で区画単位のオーナーを一般消費者から募集し、栽培管理は道の駅庄和が行い、オーナーは枝豆や黒豆で収穫ができるものである。庄和の新しい特産物として地元消費者に対して認知を促すとともに、黒豆が育っていく過程を楽しんでもらいながら、地元ならではのコミュニケーションを図っていくことも目的のひとつである。22年度、23年度は、各々550区画の契約がなされ継続的な契約によりオーナー制度の定着が図られた。昨年度は、前年の不作、震災などの影響により積極的にこのオーナーシップ制度の拡大が図れなかったが、今後、積極的にPR活動を行い、24年度は、800区画程度のオーナー契約を目指し、オーナー制度の拡大による庄和黒豆のブランド化を更に強化する。



収穫時期にはオーナーが畑で収穫を楽しめる

2. 今後の展望（見通し）

今年に入って春日部給食センターからの納入依頼が入ったり、春日部市の特産品として積極的に黒豆を打ち出していくことが市議会の中でも検討されたり、3年を経てようやく地域の中の広がりも生まれてきている。黒豆オーナーシップ制度のPR活動に今後は注力し、庄和の特産物として黒豆を根付かせ定着できるよう、これからの本番である。また、加工品も地元事業者と地域一体となりコラボレーションをどんどん進めていき、この認定期間中に試行錯誤しながら培ってきた開発ノウハウを活かし、売れる商品に絞り込み企画開発していく。地元の人にも愛される、手に取りやすい価格の日常的な食品（パン、煎餅）や、黒豆そのものを味わっていただけの加工食品を主に展開し、知名度の向上をより一層高めていく。

3. 認定を目指した経緯

道の駅庄和は、約7億円の農産物・加工食品等の販売実績を持つ集客力のある道の駅であるが、地元の名物となるような農産物を生み出しオリジナル商品を開発していきたいと以前から考えていた。また、地元の生産農家は、休耕田を活用し、農業者のモチベーション向上にも繋がる高付加価値農産物の開発をしたいと考え、関東での栽培実績が少なく、土壌改良も行わなくてはならないが丹波黒豆の栽培にチャレンジしていた。その双方の想いが合致し、黒豆栽培から、黒豆加工食品開発、販売、さらに消費者自らがミニオーナーとなり共に地域振興を図れるような仕組みを組み込み、農商工連携事業を目指すことになった。

4. 利用した中小機構の支援策

中小機構の市場志向型ハンズオン支援（試作開発支援）・キャラクター（春日 庄黒郎）活用による統一ブランド化支援及びこれまで実施してきた商工会フェアの規模を拡大した「農商工連携・地域資源推進フェア」の後援及び近隣認定事業者出店案内による開催支援・他の認定事業者とコラボレーション商品開発を行う連携支援など、事業計画遂行各項目での支援。

5. 企業概要

事業者名	株式会社 道の駅庄和		
本社所在地	埼玉県春日部市上柳 995		
ホームページアドレス	http://www.michinoekishowa.com/		
設立年月	2004年11月		
資本金	87,000千円	従業員数	45名
売上高	全体 750,000千円、認定事業の売上高 42,000千円		

※平成24年3月31日現在

6. 認定事業の概要

テーマ名	庄和黒豆のブランド化推進事業
テーマの概要	庄和の黒豆をブランド化するべく、黒豆加工商品開発及び、黒豆オーナーシップ制度を展開。
認定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日